

熊本市議会令和元年第四回定例会

二十一日間の会期の中で、十二月四日十四時から、一般質問をさせていただきます。

今回の一般質問では、以下のテーマについて質問を行いました。紙面の都合上で恐縮ですが、主な質問と答弁を掲載いたします。

皆様方の一層のご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。

■教育の現状と今後について

- (一) 幼児教育・保育無償化について
- (二) 病児・病後児保育事業について
- (三) 不登校、スクールソーシャルワーカーについて
- (四) 小中学校の部活動について
- (五) 児童育成クラブについて
- (六) 学校指定物品について
- (七) 学校現場・教育への想いについて

■高齢化社会への取り組みについて

- (一) 高齢化社会での地域コミュニティ形成について
- (二) 史跡、伝統文化の維持継承とまちづくりについて
- (三) 熊本城の復興について
- (四) ガバメントクラウドファンディングについて
- (五) 公園について

■Society5.0への本市の取り組みについて

■スポーツ振興について

- (一) 世界大会開幕後のスポーツ振興について

質問一

教育の現状と今後について

幼児教育・保育無償化について
一点目に、保育所等の副食費徴収業務の現状と負担増による保育への影響についての見解をお聞かせください。

二点目に、減免世帯のプライバシー保護、個人情報取り扱いについての考えをお聞かせください。
三点目に、徴収業務時のトラブル対応についての考えをお聞かせください。

田端高志健康福祉局長答弁

まず一点目については、幼児教育、保育の無償化実施に伴い副食費が施設による実費徴収となりました。施設での業務負担についてはそれぞれの運営状況等を確認し把握してまいりたいと考えております。
次に、二点目の個人情報取り扱いについては、施設において十分慎重な管理をするよう指導しております。
三点目、トラブル対応については施設から対応するべきものでありますが、保育所等への入所については市が利用調整を行っていることから利用者の状況を確認し、個別の案件に応じた対応を行ってまいりたいと考えております。

質問二

病児・病後児保育事業について

病児、病後児保育事業の状況と将来予測、利用方法の改善策、無償化実現時の周知の取り組みをお聞かせください。

田端高志健康福祉局長答弁

平成三十年の登録者数は前年比で減少傾向にあります。将来の利用者増があったとしても、受け入れ可能数二万二千人に対し過去五ヶ年の利用実績は六千人前後で推移しており、現在の施設で対応可能と考えます。また利用手続き等の効率化に向けて協議、検討してまいります。さらに、無償化に伴う周知については、チラシ作成、配布により、施設への説明と利用者への周知を図っております。

質問三

不登校・スクールソーシャルワーカーについて

スクールソーシャルワーカーの配置に関する現状と将来の考え方、民間のフリースクールとの連携についてお聞かせください。

遠藤洋路教育長答弁

ソーシャルワーカーの配置状況については、配置型一名、派遣型九名が子供や家庭に関わる課題や環境の改善に取り組んでいます。平成三十年から実施している不登校対策モデル事業においては、中学一年での新規の不登校がゼロという成果も見られております。また、多様な形態が混在している民間フリースクールは「一定要件を満たす場合には出席扱いとすることができる」ことから協議を進めながら学びの多様化の推進に努めてまいります。

質問四

小中学校の部活動について

一点目に、小学校運動部活動指針

改定施行に伴う現状についてお聞かせください。

二点目に、子供達の運動機会の減少の影響についてお聞かせください。
三点目に、社会体育受け入れ団体での事故発生時の保証、注意や周知の対応、保護者への負担などの認識についてお聞かせください。

四点目に、中学校部活動の現状と今後、文化部活動についての新たな指針策定への状況をお聞かせください。

遠藤洋路教育長答弁

まず一点目については、平成三十年の二六六部から廃部、社会体育への移行があり今年度九一部となっております。

二点目、運動機会減少の影響については、体力・運動能力調査の結果を注視してまいります。

三点目については、子供の運動機会の確保と教員の負担軽減の調整の観点から保護者の理解と協力を得ながら進めてまいりたいと考えております。

四点目については、中学校部活動の部活動指導員の段階的な拡充に努めてまいります。また、運動部活動と文化部活動の双方を対象とした「部活動の指針」を策定し、全小中学校へ周知を図っているところです。

質問五

児童育成クラブについて

児童育成クラブの利用状況、施設や支援員の充足、育成クラブと関連団体との連携や協力体制についてお聞かせください。

遠藤洋路教育長答弁

利用者数の推移は五年前と比べて

測してルートの見直しを検討してまいります。

質問十一

ガバメントクラウドファンディングについて

一点目に、本市でのガバメントクラウドファンディングの実施検討についての考えをお聞かせください。

二点目に、ふるさと納税の使途拡充の可否について考えをお聞かせください。

田中陽礼財政局長答弁

一点目について、本市では使途を選択できるように、九事業を展開していますが、ガバメントクラウドファンディングなどの対応を行ってまいります。
二点目の寄付金の使途拡大についても、寄付者の選択肢を増やすなどの対応を行ってまいります。

質問十二

公園について

地域活性、地域力向上に資する「公園」の他政令指定都市との比較を踏まえた本市における設置状況と今後の整備、維持管理方針、さらに公園愛護会の状況、公園協働地域業務委託の拡大への考えについてお聞かせください。

田中陽礼財政局長答弁

一人あたりの都市公園面積では政令指定都市二〇市中八位の整備水準であり、老朽化した公園の維持管理や計画的な施設改修を進めてまいりたいと考えております。公園愛護会については近隣住民や自治会の構成メンバーの活動により公園の美化やマンナ向上に貢献いただいております。公園協働地域業務委託は地域コミュニティの構築や地域への愛着を深めることを目的としており、今後は公園の維持管理の重要性が高

増加傾向にあるので、すべての施設が国基準を満たすように努め、必要に応じて専用施設の整備にも取り組んでまいります。また、支援員については雇用条件の改善を図り、人材確保に向けた方策を検討してまいります。関連団体との連携についてですが、クラブごとの運営委員会の組織化や定期的な情報交換の場を設定するなど、さらなる連携を図ってまいります。

質問六

学校指定物品について

学校指定物品に関する指針改定の経緯と、指針運用徹底への取り組みについてお聞かせください。

遠藤洋路教育長答弁

社会環境の変化に対応するべく改定を行い、物品調達に公平性や透明性、保護者の負担軽減を図り、また保護者、学校評議員、児童生徒も含めた検討委員会の開催を義務付けました。この検討委員会の実施報告書を教育委員会へ提出することを規定し徹底を図ってまいります。

質問七

学校現場・教育への思いについて

本市の学校現場は改革が行われているのか、教育に関わる方々が希望を持って熊本の教育に取り組んでいけているのかをお聞かせください。

遠藤洋路教育長答弁

教職員の働き方改革の成果が徐々に現れてきている一方、ICT技術導入による授業改善の取り組み、地域社会との連携、協働学習の取り組みなど、教職員一人一人の創意工夫を活かす環境整備を行っており、希望とやりがいがある職場となるべく努めております。

大西一史市長答弁

本市においてはアクティブラーニングや全国最大規模のICT環境整備に取り組む地域と学校が連携して未来の創り手となる子供たちの育成を推進し、「教育都市くまもと」を実現してまいりたいと考えております。

質問八

高齢化社会への取り組みについて

高齢化社会での地域コミュニティ形成について

超高齢化社会を見据えた地域コミュニティ形成に対する政策や今後の計画、さらに他都市のモデルとなる構想策定の考えについてお聞かせください。

大西一史市長答弁

健康寿命の延伸取り組みや、がん、生活習慣病、介護の予防対策に取り組む「健康コミュニティ都市」を目指してまいりたいと考えております。

石櫃仁美市民局長答弁

地域コミュニティの維持・向上のために、担い手育成や町内自治会への加入促進を進め、他地域への波及、展開、取り組みを検討してまいります。

質問九

史跡、伝統文化の維持継承とまちづくりについて

熊本城の復興について
一点目に、平成二十八年熊本地震前の熊本城復元計画についての考えをお聞かせください。

二点目に、さらなる来城者数への取り組みについてお聞かせください。

大西一史市長答弁

一点目の熊本城復興計画については、熊